

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

部長	課長	課長補佐	係長	係員	報告者	合議
協議会議事要点録						
会議名	令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会					
日時	令和7年3月26日（水）10時00分～11時40分					
場所	大柿市民センター 集会室					
出席者	江田島市企画部長	会長	はたごうち まこと 畑河内 真	○		
	江田島市女性会連合会	監査	かたやま えみこ 片山 恵美子	欠席		
	江田島市自治会連合会		おじろ はるお 尾白 治男	○		
	江田島市商工会青年部		さこ ひろかず 迫 寛和	○		
	江田島市社会福祉協議会		ふじい しん 藤井 伸	○		
	J Aひろしま江田島アグリセンター		しらもも まこと 白桃 誠	欠席		
	江田島野菜出荷組合		みねさき やすまさ 峰崎 泰昌	○		
	江田島市漁業振興協議会		しもまえ きよひろ 下前 清弘	欠席		
	江田島市不動産連合会		うえもと かずお 上本 一男	○		
	体験民宿 NORA		わせだ けい 早稲田 圭	○		
	江田島市商工会		とまりの ひでぞう 泊野 秀三	○		
	一般社団法人フウド		ごとう しゅん 後藤 峻	○		
1 開会						
事務局	開会宣言					
2 会長あいさつ						
会長	<p>皆さま、おはようございます。</p> <p>江田島市交流定住促進協議会の開催にあたり、一言御挨拶させていただきます。</p> <p>交流定住促進協議会ということで、江田島市の人口についてご紹介しようと思っております。お手元の配布資料をご覧ください。</p> <p>江田島市の人口減少は続いておりますが、自然増が65名、自然減が490名ということで自然減が大きいマイナスになっております。江田島市の年齢構成を見ると、75歳から79歳が男女ともに多いボリュームゾーンのため、自然減の傾向</p>					

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	<p>はしばらく続く見込みです。</p> <p>社会増減についてもご覧ください。こちらは例年マイナス傾向で推移してまいりましたが、昨年、市制始まって以来の社会増となりました。これは外国の方が増えている影響もございしますが、例年日本人の転出が150名程度あったものが、令和5年度については12名とかなり転出がおさえられております。</p> <p>こうなった要因については、推測ではございますが、新しい工場などの働く場ができたことで、転出しないという選択をした方がいらっしゃるなどが考えられます。このような傾向が続いていけばと思っております。</p> <p>江田島市の現況はこのようになっています。</p> <p>移住の取組は人口の取り合いである・ゼロサムゲームであるなどといわれますが、そうはいつでも社会動態でプラスマイナスゼロで推移しないと、地域が持続できないというところがあるので、こういった移住促進の取組は引き続き行っていこうというところです。</p>
3 議 題	
(1) 報告事項	
<p>ア 江田島市交流定住促進事業について（資料1）</p> <p>イ 令和6年度江田島市当初予算について（資料2）</p> <p>ウ 令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて（資料3）</p>	
会 長	<p>それでは、議題（1）報告事項に入ります。</p> <p>ア「江田島市交流定住促進事業について」、イ「令和7年度江田島市当初予算について」及びウ「令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」を事務局より、それぞれ報告をお願いします。</p>
事 務 局	－資料1、資料2、資料3により説明－
会 長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
委 員	移住者数について、内訳を詳しくご説明をお願いします。
事 務 局	内訳としては、今年度第3期までの合計は30代～40代が7世帯、50代が4世帯、60～70代が3世帯となっており、2月末での合計も、割合としては同じくらい、全年代バランスよく移住していただいております。高齢の方が多いというよりは子育て世帯の方にも多く来ていただいたという実感がございます。
会 長	他に質疑はありますか。
委 員	移住フェアについて、東京2回、大阪1回とありますが、これはどのような形で行われているのですか。
事 務 局	こちらはそれぞれ主催が異なっておりまして、9月に開催の広域都市圏移住フェアは広島市を中心とした30市町が共同で行うものです。広島県だけでなく、山口県・島根県の七分も含まれた大型のフェアとなります。場所は、東京の有楽町にある東京交通会館にて行われ、例年他の地域の移住フェアと日程がかぶることが多く、他の地域に興味をもっている方が通りがかりにお話を聞きにきてくだ

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	<p>さるということもございます。この東京交通会館には、ふるさと回帰支援センターという常設の移住支援窓口がございまして、ひろしま暮らしサポートセンターという広島県への移住サポート窓口や、そのほかの地域の移住サポート窓口がございまして、そのため、移住関連のイベントが週末頻りに開催されており、例えば石川県や和歌山県などの移住フェアと同日開催となることがあります。</p> <p>11月開催のオールひろしま移住フェアにつきましては、広島県が主催となり、県内の23市町が参加するものです。こちら東京交通会館で行われます。</p> <p>大阪での移住フェアは、中四国の市町村を対象としたもので、かなり大規模のフェアとなっております。四国・中国地方の持ち回りで開催するフェアです。</p>
委員	<p>注目度が高い物件が掲載されたタイミングで閲覧増と資料1について説明されていましたが、そのことを閲覧者はどうやって知るのでしょいか？</p>
事務局	<p>これは hodohodo について現在懸案となっているところなのですが、プッシュ型でのお知らせはできておりません。しかし、空き家バンクのページをブックマークなどして、常に見てくださっている方がおられるため、閲覧増につながっているかと思っております。</p>
委員	<p>では、あくまで hodohodo を見ている方が続けてみてくださっているから注目度が高いということですね。</p> <p>注目度が高い物件はどのようなものであるか、指標やデータはございますか。</p>
事務局	<p>注目度が高くなる傾向としては、島暮らしをしたいと希望されている方が多いため、海が見えることや駐車場の有無も重要かと思っております。</p> <p>価格帯もポイントで、そのまま住めるお家が良いという方もいらっしゃいます。手に入れやすい200万円以下の物件だと問い合わせが殺到する傾向があります。</p>
会長	<p>閲覧増の理由としては、hodohodo のアクセス数が多くなる時間帯は昼休みであるため、昼休みに見てくださっている方が、いい物件があればもう一度見に来てくださるといったようなことが閲覧増の理由として分析しています。</p>
委員	<p>1月・2月が増えているとのことでしたが、8月・9月も多いようです。</p> <p>考えられる要因としては何か想定されていますか。</p>
事務局	<p>新しい物件の掲載が多かったことが要因かと考えられます。</p> <p>例年のデータを振り返って見たときに明確な傾向というものは見つけられなかったのですが、共通するものとしては登録物件の増加や条件の良い物件の掲載があり、VRなどをじっくり見ていただくことで閲覧数が増加しているのではないかと考えています。</p>
会長	<p>資料2については何かございせんか。</p>
委員	<p>当初予算について、SNSを活用したショート動画などでの情報発信とありますが、こちらはとても重要で、いかに子育て世代に来てもらうかです。</p> <p>先日三高中学校も閉校しましたし、ぜひ効果的なPRをしてもらいたいと思っています。</p> <p>ショート動画などの発信を本当に訴求が効果的にできるか。コンテンツを作っ</p>

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	ただけで、見に来てもらわないと意味がない。それについての工夫は何か考えられていますか。
事務局	<p>現在運営している hodohodo など媒体であると、プッシュ型のものがないことが懸案でございました。</p> <p>tiktok は若い世代を中心に親和性が高い SNS であり、例えば移住で検索したら移住に関連する動画が自動でサジェストされるようになっています。それを利用して、江田島市のことをまだ知らない潜在的な移住希望者にリーチするための取組ができるのではないかとこのところからお話が始まっております。</p> <p>訴求するための工夫としては、SNS の発信のマーケティングに精通した民間の事業者さんに、訴求するための効果的なスキルを教えていただきながら、広告やプロモーションの配信なども実施していただきたいと考えております。</p> <p>最終的には hodohodo にもリーチしていただけるように、流入者を増やしたいということが目標です。また、その取組のなかで、移住関心の分析ができたらと考えております。どういった方に見ていただいて、どういう方が実際 hodohodo に流入していただいたのかを分析するところも目的の一つです。</p>
委員	限られた予算内でどこまでできるかが気になるころではありますが、ぜひ効果的に行っていただきたいです。
会長	他にないようでしたら、報告事項を終了します。
(2) 議案	
ア 令和6年度江田島市交流定住促進協議会予算の補正について（資料4-1、4-2）	
会長	<p>続きまして、議案審議に移ります。</p> <p>議案ア「令和6年度江田島市交流定住促進協議会予算の補正について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	ー資料4-1、4-2により説明ー
会長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
各委員	(質疑なし)
会長	<p>お諮りします。</p> <p>議案ア「令和6年度江田島市交流定住促進協議会予算の補正について」に賛成される方は、挙手をお願いします。</p>
各委員	(委員 挙手)
会長	<p>挙手全員です。</p> <p>よって、議案ア「令和6年度江田島市交流定住促進協議会予算の補正について」は、可決されました。</p>
イ 令和7年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について（資料5-1、5-2、5-3）	
会長	続いて、議案イ「令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について」を議題とします。

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料5-1、5-2、5-3により説明－
会長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。
委員	<p>フウドの運営側として補足させていただくと、予算が増えている原因としては、光熱水費が今年度非常に高くなったことがございます。また、もう一つ要因として、古い建物のため、設備関係の不良が起きることもあり、修繕費がかかっていることもございます。</p> <p>これは、中長期的にどこまで施設が使えるかということを危惧しておりますので、移住と交流の拠点は必ず必要だと考えておりますので、今後協議していきたいと考えております。</p>
事務局	<p>この施設が使い続けられるかどうか、修繕も出てきたなかで、移住を希望される方のイメージとして、海の見える夕日の美しい場所をとということで活用してきたことも念頭におきながら、そのほかの遊休施設も検討しております。</p> <p>今後どのような形で続けていくかについては引き続き検討していきたいと考えております。</p>
委員	このような機会で、皆さんに知っていただくことで、良い知恵をいただけることもあるのかと。どうぞよろしく願いいたします。
会長	ほかに何かございませんか。
委員	ツアーの募集人数ですが、10人程度に絞る必要はございますか。
事務局	限られた予算のなかで、市の職員が運転手となってハイエース等で行う都合もあり、10人程度が上限となっております。
会長	<p>人数が増えると、一人ひとりとお話が難しくなる面があります。</p> <p>移住される方は、人間関係ができたなかで移住して下さることが良い結果につながっていると感じておりますので、移住していただく確率を上げていくためには、ある程度絞った人数で行うことが重要かと考えております。</p>
委員	<p>ツアーの参加について、Uターンの方が江田島市に戻りたい考えることはありますが、瀬戸内という広い地域のなかで、江田島市を見に来ようと思っただくところにハードルがあるのではないのでしょうか。</p> <p>そのため、瀬戸内地域のなかでの差別化ができればと思います。</p>
事務局	<p>広島県の傾向として、移住者の方は県内で移動しているというデータがございます。県外に向けての広報が足りていないと感じています。</p> <p>有楽町のひろしま暮らしサポートセンターからは、江田島荘がワールドラグジュアリーホテルアワードで受賞されたことで、東京圏の移住関心もIターンの方からしてみると高まっているようです。</p> <p>Iターンの方からすると、やはり観光の要素は必要となってくるころがございます。このようなことで、ひろしま暮らしサポートセンターとも密に連絡をとっていきたいと考えております。</p>

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

会 長	ほかに何かございませんか。 年度途中でも、よいお話やアイデアなどあれば、都度教えていただければと思います。
事 務 局	お諮りします。 議案イ「令和6年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」に賛成の方は、挙手をお願いします。
会 長	挙手全員です。 よって、議案イ「江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」は、可決されました。
4 その他「江田島市交流定住促進協議会の組織再編」について	
会 長	続いて、その他「江田島市交流定住促進協議会の組織再編について」です。事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p>来年度、市の組織再編により、定住促進事業が企画振興課から都市整備課に移行することとなりました。</p> <p>このことを受け、本協議会の事務局も都市整備会へと移ります。現役員の皆様の任期は令和7年度末となっておりますが、会長の改選及び副会長の指名も必要となっております。</p> <p>また、委員の皆様の任期は令和7年7月末まで委嘱をしておりますが、今後、メインターゲットである若い世代、特に子育て世代に向けてさらに効果的な施策の検討を行うため、委員、委嘱先の団体についても併せて見直しを行いたいと考えております。</p> <p>主には子育て支援関係者及び市外の有識者を新たに委員として追加することを検討しております。</p> <p>交流定住促進施策を強力に推進していくため、各委員の皆様にもヒアリング等を実施させていただきながら、新体制に向けて調整を行います。</p> <p>恐れ入りますが、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
会 長	皆さん宜しいでしょうか
各 委 員	（意見なし）
会 長	以上で、本日予定されていた議案の審議はすべて終わりました。 ありがとうございました。
意見交換	
会 長	<p>ここで、私から一つ委員の皆様に御提案があります。</p> <p>この場で、お集まりいただいた皆様からもひとつ言わずつでも、所属されている団体で取り組まれている移住・定住に関する施策、または移住・定住に対する御意見を頂きたいと思います。</p>
委 員	この協議会について一番感じる事としては、江田島を元気にしよう、移住者の方を増やそうとされているなかで、移住や空き家補助についての窓口が一つになることは喜ばしい。よいことだと思います。

	<p>これからもよろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>資料をご覧ください。2月28日に呉市の呉市移住者連絡協議会に参加してまいりました。</p> <p>基本的には、倉橋の地元の農家さんや飲食店、宿泊事業者と呉市の新旧の協力隊の皆さんで、また観光事業者と市職員の方など。3名が江田島市から参加しました。</p> <p>呉市の移住・定住の状況の説明や、移住サイトの説明を伺ったなかで、私が気になったところは、呉市の場合はエリアが広いと、とびしま街道エリア2名と、安浦・倉橋2名、そして呉市中心部の5名の移住サポート担当者がいらっしゃるということです。</p> <p>江田島市においては、現在フウドがメインで移住相談を受けていますが、メインの相談の窓口はありつつ、商工関係の方、農業に関係のある方の窓口があれば江田島市にとって良いのではと感じました。</p> <p>また、SNSの活用やオンラインの移住相談にも力を入れており、instagramでハッシュタグ“呉と暮らすリアル”をつけると、移住・定住サイトに載るシステムを採用する、市民ライターの方が新しくできたお店を紹介するなど、新しい取組をされているという状況でした。</p> <p>特に倉橋は江田島市よりもかなり厳しい状況で、江田島市との協力体制を組んでいきたいというような話もありました。</p> <p>いきなり市で連携というのは難しいとしても、江田島エコツーリズム協議会の関係など、私たちが観光事業を新たに行う中で、関係人口や移住・定住の増加を図る動きを今後やっていきたいと思いますという話を現在進めています。</p> <p>今後、路線バスがあるエリアの江田島市の暮らしを知るツアーを、まずは民間としてできるところから進めようと思っています。</p> <p>何かご協力していただくこともあると思いますので、よろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>移住相談等の対応をしているなかで、コロナ禍には一時増え、現在はコロナ前頃の水準に落ち着いている感じがあります。</p> <p>このまま何もしなければ、現状維持かもしくは減ってくる可能性もあります。こどもがどんどん減っていく中で、今後どうしたらいいかは、常日頃から頭を悩ませております。</p> <p>具体的な方法としては、先ほどのSNSの活用など、さまざまに考えられますが、もっと大きな視点で言うと、江田島市が周りから、特に子育て世代の方がいらっしやって、良さそうと思えるような雰囲気作りと情報発信が大事だと思います。SNSなどで情報を届けるのと同時に、この島がどう良いのかを、見える形にしていきたいと個人的には思っています。</p> <p>そういったなかで、なにかよいアイデアがあれば、教えていただければと思います。</p>
委 員	<p>私自身、県外や江田島市外に出ていた時期もありますが、やはり島に帰りた、島で仕事がしたいと考えて、Uターンをして、現在の仕事をしております。</p>

	<p>農業の研修生の事業も行っておりますが、県外や市外の方もいらっしゃるところで、江田島市や農業への関心が増えることは嬉しいと思っております。</p> <p>農業以外の一次産業でも、もっと江田島を盛り上げていける部分もあると思いますので、一緒にできることがあれば、お声をかけていただければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>社会福祉協議会の移住との関わりとしては、仕事探しの点での情報提供が主になってくるかと思えます。</p> <p>実際に職業紹介に来られる方の半数以上は江田島市内の方ですが、今年度については、移住してきた方でお子さんが1歳を迎えるタイミングで仕事探しにいらっしゃるということが何件かございました。</p> <p>そういった方に仕事を紹介するうえで、働きやすい職場を法人としても考えていかないといけない。そのため社会福祉協議会としては、4月1日から育児介護休業法が改正されるにあたって、法律を上回る育児休業での有給休暇などの整備をさせてもらうようにしております。</p> <p>育児でどうしても休まないといけない、しかし有給休暇が取れないという方が少しでも働きやすくなるような規定にしていこうと思っております。</p> <p>医療分野や福祉分野についても、なるべくお母さん方が働きやすいような環境を整えていくことが大切であるというところで、そういった働きかけをしていこうと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>商工会としては、主に若い事業者の縁をつなぎたい。移住で来られる方が創業を目的にこちらに来て青年部に入る、商工会に入るという方のサポートを行っております。データとして、江田島市の商工会・創業塾経由でがんばりすと補助金に採択された方について、今集計できているのは53名です。最年少27歳で、最年長の方で78歳。このなかには移住者の方が多く、30代が13名、40代が17名、50代が11名。子育て世代ど真ん中ですね。商工会に所属している会員さんのところで働いている方もそういう方が多いです。</p> <p>がんばりすと補助金を使って自分で事業を始められた方も多いため、商工会の青年部としては、今28名の中で約3分の1が移住者の方です。</p> <p>私が青年部に加入した10年前は、移住者は1人いるかないかでしたが、この6年で3分の1になってきて、これはとても大事なことです。</p> <p>その3分の1の方は江田島市に愛着というか、ふるさととしての感覚がありません。もしも失っても、次の場所に移住すればいいという感覚もある。</p> <p>Iターンでいらっしゃるのも、もちろん大事ですが、今いる中学生、高校生が市外に出て、江田島市を自慢できて、それを聞いて魅力的に思ってきてくださる方もいらっしゃるでしょうし。帰ってきやすい環境を、若い方が自分で発信しながら作れるのではないかとことがあるので、例えば学生との連携や学生もよいのではないかと思います。</p> <p>自分が市外に出て、どういうふうにも自慢できるだろうかというのをもう1回見つける作りをした方がいいかなとは思っています。</p>

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	<p>発信に長けた世代に、ふるさとを再認識してもらおうということが今後に影響してくるのではないかと。これから先、市外に出ていく方のアイデアをもらっていただけたらと思います。</p>
委 員	<p>最近自治会の関係で移住者の方とのちょっとしたトラブルがありまして、その話をさせていただけたらと思います。</p> <p>ある移住者の方の近隣にお住いの方が、昔からの付き合いで、当然のように自治会には名前を載せたのです。</p> <p>それに対して、市民センターの方へ苦情が来まして、私の方から説明することになりました。自治会について、みんなが暮らしやすくするために、お互いに交流しながらやっていくものですとご説明さしあげて、お試しということで入っていただいたのですが。</p> <p>行政の方と、自治会など地域の方が一緒になって、自治会や地域の付き合いのことを説明するような仕組みがあれば、多少スムーズなるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>本日、江田島市観光グルメガイドを持って伺いました。</p> <p>魅力発信という点で、今回3ページ、4ページに島の旅という、観光名所の内容も入れさせてもらいました。各事業所さん、お店のオーナーさんの写真も入れさせてもらうなど、工夫をしていますので、またご覧ください。</p> <p>来年度、令和7年度にはがんばりすと補助金のやり方を変え、審査会を設けることにしました。</p> <p>もう1つ新しい取組として、創業塾の卒業生の集まりを作って、交流してもらいたいと考えております。</p> <p>このような交流会で、農業者の方や水産業者の方にも一緒に集まってもらって、若い方たちの交流の場に、それが若い方の元気につながればと思っております。</p>
会 長	<p>皆様から積極的な意見を多数いただきました。貴重な情報や前向きなご提案ありがとうございます。</p> <p>総合的なまちづくりとしては、子育て・教育・福祉・地域コミュニティなどを充実させていくなかで、はじめてそこに住むという選択肢ができるのではないのでしょうか。</p> <p>本日さまざまな分野からお越しいただいたみなさまと協力しながら事業を積極的に進めて参りたいと思います。今後もよろしくお願いいたします。</p>
5 閉 会	
会 長	<p>本日も色々な分野の方々の意見を伺いました。おっしゃった内容が、今後の事業に生かせる素材になるかと思っております。</p> <p>組織改編についてですが、現在都市整備課と打ち合わせ等行っております。企画振興課・都市整備課ともに協議しながら、うまく進んでいくようにしていきたいと思っておりますので、みなさまにまたご協力をお願いできたらとも思っております。</p>

令和6年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和7年3月26日）

	<p>今後ともよろしく願いたします。 本日はありがとうございました。</p>
--	--